

かがやき特別支援学校 キャリア教育全体計画

目指す学校像	・病院と連携し児童生徒の一人ひとりのニーズに応じた教育を推進する学校
育みたい児童生徒像	・入院生活と学校生活を通して、互いに思いやり助け合ったりする中で、しなやかで豊かな社会性を育みあう児童生徒 ・自分の病状を正しく理解し、体調に応じた行動や必要な援助を求めることができる児童生徒
キャリア教育の目的	・児童生徒が毎日の学校生活や学習活動の中で、将来の見通しをもって自分の生き方を考え、学ぶことや働くことへの意欲をより確かなものとし、よりよい自己実現をしていくことを目指す ・自分らしい生き方を実現していくための力の育成



キャリア教育プログラム	
人間関係形成・社会形成能力	情報活用能力
・他者の個性を理解する力 ・他者に働きかける力 ・コミュニケーションスキル ・チームワーク ・リーダーシップ ・多様な他者の考えや立場を理解する ・相手の意見を聞き、自分の考えを伝える ・自分の役割を果たし他者と協力・協働する	・情報リテラシー ・本質の理解、原因の追究 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価と改善 ・仕事をする上で様々な課題を発見して分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決できる
将来対応能力	意思決定能力
・多様性の理解 ・将来設計 ・学ぶことや働くことの意義と役割の理解 ・働くことの意義を理解して、自らの立場や果たすべき役割を考える ・多様な生き方に関する様々な情報を適切に活用して、主体的にキャリア形成に取り組む	・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・主体的行動 ・自分ができること、意義を感じる、したいことについて肯定的に理解し、主体的に行動する ・自分の思考や感情をコントロールし、自分の成長のために進んで学ぼうとする
指導場面	
各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間	



キャリア教育の進め方	
①児童生徒の課題と保護者の願いの把握	
児童生徒の課題	・学習の遅れによる焦りや復学に対する不安 ・長期間の療養からくるストレス
児童生徒・保護者の願い	【児童生徒】毎日元気に登校ができ、学習や体験活動を通して楽しい学校生活を送りたいと願っている 【保護者】治療後の復学に向けて、児童生徒の実態に合わせた丁寧な指導が行われることを望んでいる
②キャリア教育プログラムを活用した支援内容の計画立案	
・児童生徒の課題と保護者の願いに基づく ・キャリア教育プログラムと個別の教育支援・指導計画とを連動させる ・将来及び現在に必要なとされる個人スキルの育成支援目標を定める ・以上を踏まえて支援内容の計画立案を行う	
③キャリア教育プログラムを活用した教育支援の実践	
・病気を正しく理解し、体調に応じた行動や必要な援助を求め、自己管理できる力をつける ・各教科で知識・技能を身につけ、学習意欲と学び続ける力を養成する ・課題解決学習や体験学習等の中で、成功体験を重ね、自尊感情や自己効力感等を高める ・教員や友人との触れあいや関わりの中で、豊かな人間関係を構築する ・児童生徒に応じた学習環境の整備や授業のユニバーサルデザイン化 ・病院や保護者との連携	